



TOPICS

◇秋季リーグ戦直前特集

1. リーグ戦に向けて!
2. 活動紹介 (6~8月)
3. ラストシーズンに懸ける想い

◇編集後記



KWANSAI BASEBALL TEAM

1. 秋季リーグ戦に向けて!

春季リーグ戦が3位という結果に終わり、優勝するためには実力が足りない部分が多く、チームの課題もたくさん残りました。この課題を克服するために、春季リーグ戦以後、ミーティングを行い、練習の中で常に課題意識を持ちながら、日々取り組んできました。また、総合関関戦や新人戦などの行事を進行する中で、新たに活躍する選手が出てくるなど、今まで以上にメンバー争いの激しさが増す状況で、レギュラーを獲得するために全部員が危機感を持ちながら練習に励んでおりました。8月の猛暑の中、夏季強化合宿を無事に終え、20試合以上もの過密スケジュールとなった夏季オープン戦も終盤に差し掛かり、いよいよ秋季リーグ戦開幕直前となりました。

さて、今季の注目選手は、昨季にベストナインを獲得した永松(4年・明德義塾)と蛸子(4年・履正社)、長打力が自慢の小林龍(3年・神港学園)、俊足好打の高月(3年・関西)、守備力抜群の前田(3年・平安)です。特に永松は主将としてチームを引っ張り、春の関学戦では逆転の三塁打や満塁本塁打を放つなど、ここ一番の勝負強さは折り紙つきです。また、投手陣は先発の秋本(3年・北陽)、吉川(2年・履正社)の二枚看板を軸に、横山(4年・報徳学園)、近藤(2年・福知山成美)の継投で勝利へと導きます。そして、投手の伊勢(明德義塾)、魚谷(履正社)、代打の切り札・渡辺(福知山成美)といった4年生たちがどこまでチームを引っ張れるかが優勝への鍵となります。ベンチもスタンドも140人全員が一丸となって戦い、藤田監督の指揮の下、必ずチームスローガンである「奪首」を達成します。春より成長した関大野球部に注目してください!

主将、主務の意気込み!

主将・永松泰典(4年・明德義塾)

春季リーグでは、多くの方に応援をしていただき本当にありがとうございました。

秋季リーグでは春の悔しさをぶつけ、関大野球部全員で相手チームに挑み、勝利をつかみ取りたいと思います。そして、リーグ戦を笑って終われるように努力していきますので、みなさんも熱いご声援よろしくお願いします!



主務・岡山 馨(4年・乙訓)

いつも関大野球部を応援してくださり、誠にありがとうございます。

4年生にとって最後のリーグ戦となりました。この秋も主将・永松を中心にチーム全員が一丸となって、一戦一戦、一球一球を大切に、藤田監督の胸上げを目指して、必死に戦っていきます。是非、球場までお越しいただき、一緒に感動を分かち合いましょう! よろしくお祈りします。



2. 活動紹介(6~8月)

第33回総合関関戦

関大・驚異の逆転劇！

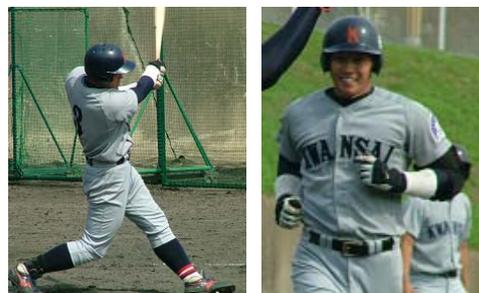


関大、関学の全体育会クラブが激突する伝統ある総合関関戦。今年で33回目を迎え、6月17日から19日に関大の千里山キャンパスで開催されました。野球部は昨年大敗しているため、絶対に負けられない試合でしたが、序盤から関学の猛攻に合い、4回までに6点のリードを許してしまい、非常に苦しい展開になりました。しかし、4回裏、小林龍の左越本塁打を皮切りに、関大打線が爆発し、7回裏に代打・益田(3年・北陽)の左前2点適時打で同点に追いつき、8回裏には小林龍がこの日2本目となる左越2点本塁打を放ち、7-6で関大が劇的な逆転勝利を収め、昨年の雪辱を晴らすことができました。

☆選手談☆ 小林 龍之介(3年・神港学園)

今回の総合関関戦は関大のグラウンドでしたので勝ててよかったです！！

秋のリーグ戦でも活躍できるように頑張ります。



新入生研修プログラム

伝統ある関大野球部の一員として！

4月に大学生となり、野球部員となった38名の1年生を対象に5月26日から6月30日の間に計6回、新入生研修プログラムが行われました。このプログラムは、関西大学の野球部員として習得しておかなくてはならない「礼儀やマナー」、「社会性、公共性」、「関西大学と野球部の歴史に関する知識」等を、顧問をはじめ、野球部OBの職員が講師となって実施されたもので、1年生は真剣な表情で講義を受け、関大生として、野球部員として、これから社会に出ていく上で大切なことを学びました。関大野球部の一員として活動し、4年間の大学生活ですばらしい人物に成長してほしいです。

☆選手談☆ 加納 由也(1年・関大北陽)

研修プログラムを通して、自分たちがこうして毎日野球ができ、大学で勉強ができているのは、家族や野球部のスタッフ、先生方、そして野球部のOBの方々の支えがあるからだと改めて感じました。そのことを当たり前だと思わずに、1回の練習、1回の授業をおろそかにせず何か一つでも身になるようにしていきたいと思います。まだまだ分からない事の多い僕たちですが、今回忙しい中研修会を開いてくださったスタッフの方々に感謝し、4年間の大学生活を通じて、人として大きく成長していきたいと思います。



春季新人戦

関大、新人戦も3位！

6月22日から24日に豊中ローズ球場にて春季新人戦が行われました。初戦の同大戦は1点ビハインドの9回表に福田一(2年・龍谷大平安)が逆転右越2点適時二塁打を放ち、2-1で見事に勝利しました。準決勝の関学戦は序盤から関学に主導権を握られ、1-8で敗戦となりました。その中でも、李(2年・京都国際)、奥村(2年・大阪桐蔭)、西郷(1年・報徳学園)が2安打を放つなど健闘し、最後まで諦めない野球を見せました。今後、この中から関大の柱となる選手が出てくることを願っています。

☆選手談☆ 優秀選手賞獲得・福田一生(2年・龍谷大平安)

応援ありがとうございました。春のリーグ戦、新人戦で、優勝できなかった悔しさを秋のリーグ戦や新人戦にぶつけ、必ず全員で優勝します！



関西オールスター5リーグ対抗戦

関西学生野球連盟、まさかの大敗。

6月25日から27日の3日間、関西地区の5リーグ対抗戦が行われました。関大が所属する関西学生連盟は準決勝で阪神大学野球連盟と試合を行い、関大からは蛸子が8番・ライトとして先発出場し、関西学生野球連盟唯一の得点となる右前適時打を放つなど、3打数2安打1打点の活躍を見せました。また、途中には投手・秋本、捕手・永松という関大バッテリーが実現し、小林龍も出場するなど、関大の選手全員が出場を果たしました。スタンドも関大野球部全員で応援に駆け付け、リーグ戦と同様にチアスティックを両手に持ち、グラウンドの選手たちに大きな声援を送っていました。しかし、1-9と大差をつけられての敗戦となり、出場選手もスタンドも関西学生野球連盟の一員として大きな悔しさが残りました。来年は必ず他のリーグに負けないう、しっかり技術の向上をはかり、関西学生野球を盛り上げていきたいです。

☆選手談☆ 秋本 達也 (3年・北陽)

5リーグは他大学の選手と共にプレーし、上手い選手ばかりなので、とてもいい経験になりました。秋のリーグ戦では今回、同じチームであったメンバーと対戦することになるので、負けないように頑張っ
て必ず優勝します！



オマハ・ハワイ遠征

関大勢が大活躍！

7月18日から12日間、関西学生野球連盟選抜チームはアメリカのオマハとハワイに渡り計6試合の親善試合を行いました。関大からは、コーチ・藤田監督、主務・岡山、投手・秋本、捕手・永松、内野手・小林龍、外野手・蛸子が連盟代表として選出されました。オマハでは全米大学野球の聖地であるローゼンブラッド球場にてメジャーリーガーの卵たちが集う全米大学野球選抜チームと戦い、1-4と負けてしまいましたが、球場の雰囲気やお客さんの歓声などアメリカ野球を味わうことができ、とても貴重な経験をすることができました。蛸子が6試合で12安打、小林龍が全米戦で3安打を放つなど、永松、秋本もそれぞれ結果を残し、関大勢の活躍が目立った海外遠征となりました。

☆選手談☆ 蛸子 大輔 (4年・履正社)

今回オマハ・ハワイ遠征に行かせていただいて試合も毎日出させてもらい、とてもよい経験が出来ました。調子も良く「野球を楽しむ」という初心を思い出させてもらった気がします。アメリカでのチームメイトが秋季リーグではライバルとなるのでとても楽しみにしています。自分も試合に出て対戦できるように激戦となる外野のポジションを取り、優勝に貢献できるように努力しますので、ご声援よろしくお願い致します。



夏季強化合宿

あれから1年。

8月5日から8日までの4日間、高槻キャンパス内の高岳館に宿泊し、夏季強化合宿を行いました。例年に比べると短期間の合宿となりましたが、気温35℃を超える猛暑の中、140人全員が汗を流し、朝から夜まで技術向上を目指し、一生懸命に練習に励んでおりました。この夏合宿で、あの不祥事からちょうど1年が経ち、時の流れの速さを感じながら、苦労したこと、嬉しかったことなど様々な活動を思い出し、毎日野球ができる喜びや野球部を支えて下さっている方々への感謝の気持ちを再び感じながら、充実した合宿を過ごしました。



関西大学体育会野球部 平成22年度秋季リーグ戦日程

9月	対戦相手
4 土	開会式（わかさスタジアム京都）
11 土	京都大学 1 回戦（皇子山） 11:00～
12 日	京都大学 2 回戦（皇子山） 13:30～
13 月	3 回戦
18 土	同志社大学 1 回戦（わかさスタジアム京都） 11:00～
19 日	同志社大学 2 回戦（わかさスタジアム京都） 13:30～
20 月	3 回戦
25 土	立命館大学 1 回戦（スカイマーク） 10:30～
26 日	立命館大学 2 回戦（スカイマーク） 13:00～
27 月	3 回戦

10月	対戦相手
9 土	近畿大学 1 回戦（皇子山） 11:00～
10 日	近畿大学 2 回戦（皇子山） 13:30～
11 月	3 回戦
16 土	関西学院大学 1 回戦（わかさスタジアム京都） 18:00～
17 日	関西学院大学 2 回戦（わかさスタジアム京都） 18:00～
18 月	3 回戦
25 月	閉会式（わかさスタジアム京都）

熱いご声援よろしくお願いします!



3. ラストシーズンに懸ける想い

就職活動を終えた4年生たちが野球部に復帰し、選手としてではなく、学生コーチとして、ノックや整備など練習の補助を行い、チームの為に「自分たちが後輩たちに残せること。」を常に考え、活動しております。秋のシーズンは、やはり4年生がどこまでチームを引っ張れるかということが、優勝への鍵になります。プレーする者、補助をする者関係なく、4回生全員が背中では後輩たちを引っ張れるように、残りの1日1日を大切に過ごし、チームを盛り上げていきます!



編集後記

マネージャー 2年生 西 凌太

奪首×Dash 第3号はいかがでしたか? チームは春の悔しさを晴らそうと、様々な活動を通して非常に良い方向に進んでいます。4年生にとっては最後のリーグ戦になります。ここまで導いてくださった4年生が有終の美を飾れるように部員全員が一丸となって戦い、必ずリーグ優勝を達成したいと思います。熱いご声援よろしくお願い致します。



ご意見・ご感想 大募集!

ご愛読ありがとうございました。今後の『奪首×Dash!』の編集に活かしていきたいと思っておりますので、同封している別紙のアンケート用紙をご記入の上、下記の送付先にFAX、または郵送していただければ幸いです! 皆さまからのご意見やご感想をお待ちしております!



○送付先○

〒564-8680

大阪府吹田市山手町 3-3-35 関西大学新凱風館内

関西大学体育会野球部 宛

TEL: 06-6368-1111(4979) FAX: 06-6388-8214

E-mail: kwansai-univ_baseball@mopera.net

HP: http://www.kandai.ne.jp/~cl_baseball/